

＜令和 6 年度将棋同好会活動報告五報＞

令和 7 年 1 月 7 日

(令和 6 年 1 1 月 1 5 日)

○小黒（先手）－橋本戦 小黒の○

先手小黒からの誘導で、角不交換型の相居飛車戦となった。早い時期での角の 3 筋への転換と中央への 2 枚銀による制圧を組み合わせた橋本陣の 5 三地点への集中攻撃作戦が功を奏し小黒が優勢を築いた。中盤、やや無理攻めと思われる小黒の攻撃に対する橋本の受けが甘く、形勢が一挙に小黒に傾きそのまま小黒が勝ち切った。

○橋本（先手）－出井戦 橋本の○

後手出井の四間飛車穴熊囲いと先手橋本の居飛車高美濃囲いの戦い。橋本は敵の角頭からの攻め狙いで先攻姿勢を見せる。中盤への入り口当たりで、出井に不可解な、攻めとも受けとも思えない「銀打ち」があり橋本の駒損が確定、この差はいかんともしがたくは橋本が慎重に進めそのまま勝ち切った。

○小黒 - 出井（先手）戦

出井の振り飛車に対し小黒の作戦がうまくいき、やや小黒優勢の場面で時間切れで次回に持越しとなった。

(令和 6 年 1 2 月 2 3 日)

○小黒（先手）－橋本戦 橋本の○

相居飛車で、序盤は橋本の型が良く有利に進めていたが中盤小黒が盛り返し、互角あるいは小黒やや有利の局面もあったやに見えたが最後は小黒が攻めあぐね橋本の攻めが早く橋本が押し切った。

○橋本 - 出井（先手）戦 橋本の○

いつも通り出井の振り飛車穴熊と橋本の居飛車高美濃囲いの戦い。序盤からめずらしく出井の早い時点での仕掛けから戦いが始まったが出井は読みを誤り銀損の攻めとなり、早い時点で指し切り模様となり橋本の楽勝となった。

○出井 - 小黒（先手）戦 出井の○

先月からの指し継ぎ。小黒やや有利な局面からの再スタート。小黒の攻めが好調に見えたが、見た目ほどは有効な攻めが発見できず、モタモタしている間に差が無くなり、最後は出井の逆転勝ち。小黒の寄せの甘さが敗因。

○今年の最終日であり、事後簡単な忘年会を 3 人で実施。

次回は令和 7 年 1 月 2 0 日月曜日に活動予定